

■教員情報

氏名/name		芝崎美和 / Shibasaki Miwa
職 位		准教授
所 属		健康保育学科
学 位		博士（心理学）
免許・資格		
実務経歴		
専 門		発達心理学、教育心理学
授業	大学	保育の心理学、子ども教育心理学、子ども家庭支援の心理学、保育内容「人間関係」、幼児理解の理論及び方法、教育心理学、保育教職実践演習
	大学院	-
研究テーマ・研究業績		<p>【研究テーマ】</p> <p>幼児期および児童期における社会性の発達、幼児期の道徳性発達、保育環境における居場所感の獲得過程、感情表出機能の発達を促す環境的要因についての検討、保護者による支援ニーズ</p> <p>【研究業績】</p> <p>主要著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡辺弥生, 伊藤順子, 杉村伸一郎, <u>芝崎美和</u>, 他22名：原著で学ぶ社会性の発達. ナカニシヤ出版, 66-73, 2007. ・川島一夫, 渡辺弥生, 加藤正晴, <u>芝崎美和</u>, 他10名：図で理解する発達 新しい発達心理学への招待. 福村出版, 177-190, 2010. ・澤津まり子, 木暮朋佳, <u>芝崎美和</u>, 田中卓也, 他13名：第4章 子どもをみるまなざし. 澤津まり子, 木暮朋佳, 芝崎美和, 田中卓也（編）, 保育者への扉. 建帛社, 40-45, 2012. ・湯澤正通, 湯澤美紀, <u>芝崎美和</u>, 他5名：教師教育講座第3巻子どもの発達と教育. 協同出版, 37-60, 2014. <p>主要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>中川美和</u>, 山崎晃：対人葛藤場面における幼児の謝罪行動と親密性の関連. 教育心理学研究, 52, 159-169, 2004. ・<u>中川美和</u>, 山崎晃：幼児の誠実な謝罪に他者感情推論が及ぼす影響. 発達心理学研究, 16, 65-174, 2005. ・<u>中川美和</u>, 山崎晃：幼児の謝罪と罪悪感発達レベルとの関連. 乳幼児教育学研究, 15, 45-52, 2006. ・<u>中川美和</u>, 山崎晃：視点取得を促す介入は幼児の謝罪を動機づけるか. 乳幼児教育学研究, 22, 31-40, 2012. ・<u>芝崎美和</u>, 吉村淳子：大学生の居場所意識とレジリエンスとの関連性. 幼年教育研究年報 37, 91-98, 2014. ・<u>芝崎美和</u>, 芝崎良典：母親が求める育児サポートとは：母親の特性と求められるサポートとの関連性. 日本保健福祉学会誌, 22, 1-12, 2015. ・<u>芝崎美和</u>, 山崎晃：児童期の謝罪と罪悪感との関連：違反発覚の有無という視点に基づく児童の予測. 教育心理学研究, 64, 256-267, 2016.

- ・芝崎美和, 芝崎良典：領域「人間関係」における協同学習の効果の検討. 新見公立大学紀要, 38, 51-56, 2017.
- ・芝崎美和, 芝崎良典：説明行動と罪悪感・羞恥感情との関連性：青年期女子を対象とした検討. 新見公立大学紀要, 38, 35-40, 2017.
- ・芝崎美和, 芝崎良典, 湯澤美紀：感情表出に難しさを持つ幼児に対する保育学生の介入：感情表出風土との関係性. 新見公立大学紀要, 39, 31-37, 2018.
- ・芝崎美和, 芝崎良典, 湯澤美紀：幼児の共同活動における特徴: アクションリサーチによる会話分析から. 新見公立大学紀要, 40, 121-126, 2019.

研究キーワード	道徳性発達、社会性発達、感情機能の発達、保育環境における居場所感、保護者支援
地域活動	
URL	